

報道関係者の皆様へ

2017年2月吉日

「とらや市 弁当箱」を開催します。

「とらや市」（とらや 東京ミッドタウン店ギャラリーにて開催）では、食にまつわる実用的な道具を展示・販売しています。その第5回となる「とらや市 弁当箱」を2017年3月17日（金）より開催します。自然素材でつくられた弁当箱等の紹介や販売を中心に、弁当の変遷や日本各地の人々の弁当の写真紹介も行ないます。



■概要■

現代の暮らしの中で、多くの人々に親しまれている弁当。その原型は、弥生時代にまでさかのぼり、今日に通ずる弁当のはじまりは、安土桃山時代頃といわれています。

江戸時代には、仕事などへの携行食という性格に留まらず、芝居弁当や花見弁当などの行楽弁当も登場し、弁当箱とともに日本独特の文化として発展していきました。

近年では、外国の方々にも「Bento」として興味を持たれるようになり、世界的な広がりを見せています。

学校や仕事場での昼食に、旅や行楽の楽しみの一つに、暮らしのさまざまな場面に寄り添う弁当と弁当箱。本展では、自然素材でつくられた弁当箱を中心に、その特徴を、弁当の写真とともにご紹介いたします。展示を通じ、皆さまの暮らしにあった弁当箱をみつけていただければ幸いです。

■基本情報■

名 称 : とらや市 弁当箱
会 期 : 2017年3月17日(金)～7月31日(月)
時 間 : 11:00～21:00 ※無休（東京ミッドタウン休業日に準じます）
場 所 : とらや 東京ミッドタウン店内ギャラリー
（東京都港区赤坂 9-7-4 東京ミッドタウン ガレリア地下1階）
電 話 : 03-5413-3541
協 力 : 阿部 了、阿部直美、株式会社木楽舎、株式会社暮らしの手帖社
暮らしの道具 谷中松野屋、長尾智子（五十音順・敬称略）

●さまざまな弁当箱

曲げわっぱや飯行李など、自然素材の弁当箱を中心に、10 種以上の弁当箱を展示。一部の弁当箱を実際に用いて、料理家の長尾智子氏が中身を詰めた弁当の写真も紹介します。

※展示商品の一部は実際に販売します。



●「暮らしの手帖」に見る、弁当箱のいま・むかし

雑誌「暮らしの手帖」(株式会社暮らしの手帖社)に過去掲載された、弁当箱に関する誌面を時代毎に6面抜粋し、紹介します。1955年から2015年まで、時代による弁当箱や弁当の変遷をお楽しみ頂けます。

●「おべんとうの時間」

ANA グループ機内誌『翼の王国』にて連載中の「おべんとうの時間」(写真：阿部 了氏、文：阿部直美氏)より抜粋した、海女や茅葺き職人、語り部といったさまざまな仕事に従事している方々の弁当の写真を12点展示します。

※展示内容は変更する場合がございます。

～「とらや市」について～

日本には、生活の中で使われ続けてきた、たくさんの伝統的な道具があります。いま、改めてそれらを手にとり、その実用性や美しさをみつめ直すきっかけをお届けしたい。この思いから、「とらや市」では、食にまつわる実用的な道具を展示・販売いたします。

※過去のテーマ：「かごとざる」「ふきんとてぬぐい」(2014年開催)、「はしとさじ」(2015年開催)
「なべとかま」(2016年開催)

**【とらや 東京ミッドタウン店】は、
2017年3月30日に10周年を迎えます。**

和菓子だけではなく、和の様々な魅力や価値も広くお伝えしたいという思いから、虎屋初となるギャラリーを併設し、企画展や「とらや市」を開催してまいりました。これからも、日本文化を今の時代にあった新しいかたちで発信していきます。



＊取材に関する問い合わせ先＊

株式会社 虎屋

経営企画室 広報課 奥野容子

Tel:03-3408-4128 E-mail : okuno@toraya-group.co.jp